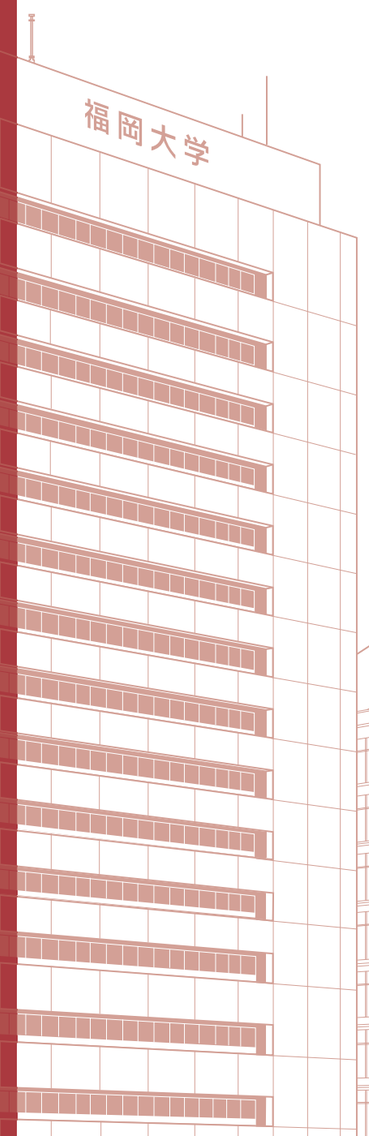
医学部
Faculty of Medicine

・医学科
・看護学科

FUKUOKA UNIVERSITY

FACULTY GUIDEBOOK



福岡大学
学部ガイド2026

FUKUOKA UNIVERSITY

入学センター
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL：092-871-6631（代）

医学部
ウェブサイト

キャンパス
マップ

Medical Education

自分に厳しく、人に優しく、思いやる心…。
そんな医師になりたいと思う。
解説して、やってみせ、させてみて!!

※本冊子に掲載している人物の情報は、2024年度取材時のものです。

学部長メッセージ

総合大学で幅広い教養を身に付け、高度な専門教育を修得し、コミュニケーション能力の高い、豊かな人間性を持つ医療人を育成

医学部長　小玉 正太 KODAMA Shohta

本学部は医療人として必要とされる高度な知識や技術を修得するとともに、高い道徳性、倫理観、公正さを学ぶ場でもあります。加えて他職種が連携するためには、医療チームの担い手としてのリーダーシップやチーム医療を円滑に行うための協調性、コミュニケーション能力を養う必要があります。医学科は「FU-RIGHT」（信頼関係、知識、優しさ、健康増進、教育的指導）の精神を持つ医師を育てるため、1学年から基礎医学に加えて病棟での実習を取り入れる等、全国共用試験および国家試験に向けてらせん状にカリキュラムの編成を行っています。6年間の学びの期間では、医師として求められる精神的な強さと高い倫理観、科学的探究心、自律学修能力等の修得が必要です。また海外の大学との交流や国際都市としての福岡という地域性によりグローバルな視点を養い、卒業後は国際医療や地域医療に貢献してくれることを願っています。看護学科では「患者さんに寄り添う」ことを念頭に、看護学を学問として体系的に学びます。大学病院等で実施する充実した臨床教育が特長で、高度な知識と技術を備え、広く社会に貢献できる看護専門職の人材を育成しています。医療人としての毎日は日々が学びであり、特にベッドサイドでは真摯な気持ちで患者さんと向き合うことではじめて得た知識が成就します。自身の理想とする医療人に向かって学問に励むと同時に、大切な命と向き合うためのプロフェッショナルな意識を培い、「人を診る」医療人を目指しましょう。

目次

学部長メッセージ …… 01
医学部 医学科 …… 02
―医学科紹介 …… 02
―卒業生の声 …… 03
―医学科の6年間 …… 04
―講座紹介 …… 06
―医学 カリキュラム・ツリー …… 08
―『模擬講義NAVI』って何？ …… 09
―医学科Q＆A …… 10
医学部 看護学科 …… 11
―主任メッセージ …… 11
―看護学科紹介 …… 12
―卒業生の声 …… 13
―看護学科の4年間 …… 14
―看護学科の学びの特色 …… 16
―看護学科の学びの特徴 …… 17
―分野・領域の紹介 …… 18
―大学院（修士課程）の紹介 …… 19
―看護学科Q＆A …… 20
福岡大学の病院 …… 21

医学部生は非喫煙！

「医学部入学生は非喫煙」を
一つの大きなスローガンとしています。
医学部・病院の敷地内は禁煙エリアですので、
入学生は当然、喫煙を禁止します。
将来、立派な医療従事者になる必須条件の一つと、
私たちは考えます。

人材養成の目的「三つのポリシー」

- アドミッション・ポリシー（AP）〈入学者受け入れの方針〉
- カリキュラム・ポリシー（CP）〈教育課程編成・実施の方針〉
- ディプロマ・ポリシー（DP）〈学位授与の方針〉

医学部の詳細は以下のQRコードから（公式ウェブサイト）

▼AP　▼CP　▼DP

医学科

School of Medicine

医の原点に立った高度な医療技術と問題解決能力を身に付け、「人を治療する」人として、質の高い医師を目指す。

在学生の声（『大学案内2026』）

学科公式ウェブサイト

求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	高等学校の教育内容を学修し、医師になるための十分な基礎学力を有する人
B	技　能	自らの視点で物事を解釈・表現し、他者と良好な関係を築く能力を有する人
C	態度・志向性	高い倫理観を有し他者を尊重でき、自律学習能力と自己研鑽を継続できる人
D	その他の能力・資質	国際的な医療制度に関心を持ち、公衆衛生学的見地から地域社会に貢献する人

求める人材像（求める能力）の詳細は

学びの特色

医学全般への理解を深める基礎と臨床の連携教育

- 臨床医学の土台は基礎医学にほかなりません。医学科では、この二つが密に連携した螺旋型教育を行うことで、医学全般への理解を深めていきます。
- カリキュラムは6年一貫教育制であり、その特徴を生かして第1学年から専門関連の科目を多く設定し、看護体験や施設見学を含め、早期から臨床に接して学びます。
- 第2学年以降の基礎医学系の実習については、学生一人一人に実習機器が確保されるよう、実習室や器具類を整備しています。
- 自学自修を推進するため、少人数の学生が集まって自習できるスペースも整備しています。

あらゆる分野への対応能力と問題解決能力を高める

- 臓器別に内科と外科を一体化して診断・治療を学ぶ統合教育を実施し、対応能力と問題解決能力を高め、その後の臨床実習に臨むための知識と技術を身に付けます。

学生主体の学びを促すテュートリアル教育

- 本学医学科では従来の講義形式とは異なり、7人程度の少人数グループが自ら調べ、考え、討議し、問題解決能力や自学自修の姿勢を培う教育に重点を置いています。その指導を行うのがテューター（担当教員）であり、学生主体の学びに適切なアドバイス等を加え、教育効果をさらに高めます。

3つの病院による充実の臨床実習

- 本学医学科の特長の一つは、福岡大学病院と福岡大学筑紫病院、および福岡大学西新病院の3病院が臨床実習の場であることです。それぞれの地域特性などにも触れつつ、充実した臨床実習が「クリニカルクラークシップ方式（診療参加型臨床実習）」により取り組めます。

専門研究と総合研究の双方を進展

- 医学の研究においても専門化と分化が進んでいます。しかし分化が進むほど、各専門分野間の連携を強化し、生体全体の機能から病態解明までの統合が必要になります。それらを踏まえ、各教室が先進的な専門研究を行うと同時に、基礎・臨床を超えた研究が展開されるよう6つの総合研究室を設置しており、広い視野からの研究を進めています。

アウトカム基盤型教育

- 福岡大学（FU）医学生は、卒業時に、1）自尊心と高い倫理観を有し、他者と信頼関係（Relationship）を築くことができる、2）確かな知識（Intelligence）と技能に基づいた、人にやさしい（Gentleness）医療を実践できる、3）グローバルな視野で地域の健康増進（Health）と疾病予防に貢献できる、4）科学的探究心、論理的思考を身に付け、教育的指導（Teaching）ができることを謳っています。頭文字をとって、FU-RIGHTプロジェクトがスタートしています。

Fukuoka University FU RIGHT Medicine
Relationship Intelligence Gentleness Health Teaching

卒業生の声

地域医療への思いが本学科志望を後押し。
在学中に培った対人スキルは医療現場でも生きる。

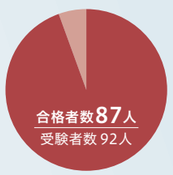
本学科は第1・2学年で主に医学の基礎を理解し、看護体験や施設見学を含め、早期から臨床に接して学ぶことができます。第3・4学年では基礎医学と臨床医学の各論分野を習得、第5・6学年では学んできた知識を臨床現場で生かせることも魅力です。また、福岡大学病院以外に筑紫病院、西新病院と連携しており、地域特性の異なる環境で臨床修練を積むことができます。

私は、医師として働く両親の背中を小さい頃から見ていたことがきっかけで、医師を志しました。特に地域医療に貢献したいという強い思いを持ち、本学科へ入学しました。博士課程修了後は循環器内科に入科し、救命救急センターで救急患者さんの循環器診療を行うなど、経験を積んでいます。医師は医学的知識に加え、コミュニケーション能力も問われる仕事です。同僚や上司との連携は最も重要で、患者さんやご家族との間に信頼関係を形成することは、治療方針を決める上でも大切です。人間性や問題解決能力、指導力などの対人スキルは学生時代に部活動等でさまざまな学生と交流することで培うことができ、現場で大いに生かせています。

川平 悠人 さん（2016年卒業）
福岡大学病院 心臓血管内科学
（循環器内科・医師）
医学研究科 先端医療科学系専攻 博士課程（2022年修了）

国家試験合格率（2024年度）

第119回医師国家試験
合格率は
新卒 94.6%



本学医学科は53年の伝統を有し、総数4,936人の卒業生を輩出しています。

医学科の6年間

1学年　**2学年**　**3学年**　**4学年**　**5学年**　**6学年**

医学概論／行動科学／解剖学／先端医療／ professionalism ／コミュニケーション／医療面接／生命科学／研究室配属／心肺蘇生／看護実習・C・C体験

臨床医学／地域医療

参加型臨床実習／領域別集中講義

■ 入学式

■ フレッシュマンキャンプ

■ TBL（チーム基盤型学修法）

5月中旬には、医学概論の授業で、各班が発表を行います。さまざまな医療のテーマを取り上げて、チームごとに討論し、学年全体でプレゼンテーションを行います。

■ 早期臨床体験（シミュレーション学習・医療面接）

医学教育推進講座ではシミュレーターを使って聴診とバイタル測定について学びます。7月上旬、医学概論の授業で模擬患者さんとの医療面接を体験し、医療者のコミュニケーションの基礎力を身に付けます。

■ 看護実習・C・C体験

入学して半年後に、福岡大学病院・筑紫病院・西新病院で看護実習とクリニカルクラークシップ体験を実施します。

■ 臨床医学入門Ⅰ

主要症候（胸痛、腹痛）の症候学を学び、患者さんとの臨床面接のシナリオを作成します。そのシナリオを使って学生同士でロールプレイを行います。OSCEの胸部診察とバイタルサインを実習してシミュレーターでミニテストを行います。日本語・英語での医療面接も体験します。

■ グローバル人材演習

専任のネイティブ教官3人体制で、医療英語を早い段階から学びます。

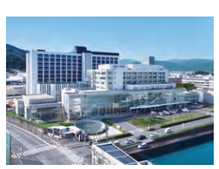
■ 予防医学／保健・福祉教育

■ 離島研修

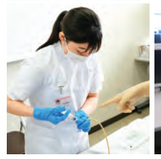
■ プライマリーケア

■ 高齢者・障害者／在宅医療療養型施設

地域医療実習



〈福岡大学病院〉



■ CBT、OSCE

共用試験（CBT、OSCE）は、臨床実習開始前の学生の知識と技能を、全国で標準化して評価する試験です。主として知識を評価するCBT（Computer-Based Testing）と、技能・態度を評価する客観的臨床能力試験OSCE（Objective Structured Clinical Examination）とに分かれています。医学教育推進講座では、医学生の皆さんがスムーズに共用試験をパスできるよう全力でサポートしています。

■ 白衣授与・臨床実習生認定式

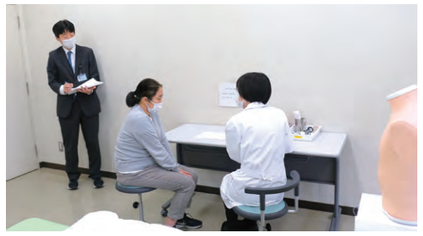
12月中旬に白衣授与式が行われます。いよいよ臨床実習がスタートします。白衣授与・臨床実習生認定式では、授与された白衣に着替え、全員でヒポクラテスの誓いを宣誓します。

■ 臨床実習

5学年の1年間はベッドサイドでのクリニカルクラークシップⅡを通年で行います。4週間型のクリニカルクラークシップでは診療チームの一員として多くの患者さんの診療に参加し、病歴聴取、身体診察、検査・治療計画を立て、カルテに記載しプレゼンテーションを行います。実習中には英語論文の読み方、Power Pointによる発表、シミュレーターによる手技の実習等を幅広く行い、チーム医療、コミュニケーション、臨床推論力等を養います。ステップアッププログラムでは、先輩医師から臨床実習や学習のアドバイスを受けます。

■ 啓明大学校 交換プログラム

5月から6月にかけて、韓国の啓明大学校との交換プログラム（約2週間）が行われます。2020年に15周年を迎えた、伝統あるプログラムです。



■ クリニカルクラークシップ・Post CC-OSCE

3週間～4週間の臨床実習。学内・外の病院で選択型の臨床実習を行います。

■ 国家試験に向かってラストスパート

■ 卒業式・学位記授与式

講座紹介

医学部には基礎系講座、臨床系講座、医学教育講座、倫理学講座などがあります。
主任教授とその研究テーマや研究分野を紹介しています。

※2025年4月1日現在

基礎系講座

解剖学 Anatomy
主任教授 貴田 浩志
- 超音波エネルギーと薬物を併用する治療法の研究
- 医用工学、薬学、癌、循環器、分子生物、再生医療、ナノ医学、超音波診断造影剤

生理学 Physiology
主任教授 藤田 孝之
- 循環器疾患、腫瘍性疾患などの発症メカニズム解明～新規治療方法の確立
- 生理学

薬理学 Pharmacology
主任教授 岩本 隆宏
- イオン輸送体(特にNa+/Ca2+交換輸送体)の構造・機能および病態の研究とその治療薬の開発
- 薬理学一般

微生物・免疫学 Microbiology & Immunology
主任教授 廣松 賢治
- 細胞内寄生性細菌のエスケープ機構と糖脂質抗原認識による新しい免疫制御法の開発
- 生体防御学、免疫学、微生物学、細菌学、ウイルス学、真菌学、寄生虫学

衛生・公衆衛生学 Preventive Medicine & Public Health
主任教授 有馬 久富
- 高血圧および脳卒中の疫学および臨床研究、すべての人の健康を守るエビデンスを創る
- 疫学・予防医学

細胞生物学 Cell Biology
主任教授 白澤 専二
- 自己免疫疾患関連遺伝子の解明、肥満・糖尿病関連分子の解明、疾患ゲノム解析、発癌の分子機構の解明
- 細胞生物学、分子生物学、人類遺伝学、実験病理学

生化学 Biochemistry
主任教授 安永 晋一郎
- 造血幹細胞や白血病幹細胞の増殖と分化を掛け分ける分子機構の解析、Gemininタンパク質の可視化による幹細胞制御の分子機構の解析、造血幹細胞の体外増幅法の開発
- 医化学一般、病態医化学、血液内科学

病理学 Pathology
主任教授 濵﨑 慎
- 遺伝子異常に基づく呼吸器悪性腫瘍の新規診断法、予後予測因子の解明
- 人体病理学、実験病理学

再生・移植医学 Regenerative Medicine and Transplantation
主任教授 小玉 正太
- 膵島移植を主とする細胞移植・移植免疫に関する研究、細胞保存・臓器保存に関する研究、インスリン産生細胞再生、尿道再生、創傷治癒、血管新生、リンパ管新生、唾液腺再生、副腎皮質ホルモン産生細胞再生等の再生医療に関する研究
- 再生医学、幹細胞研究、移植免疫、膵島移植 膵島研究

法医学 Forensic Medicine
主任教授代行 柏木 正之
- 頭部外傷の法医神経病理学的研究、認知症の法医神経病理学的研究、薬毒物中毒の法医学的研究、体液中の微量化合物の剖検診断における意義
- 法医病理学

臨床系講座

腫瘍・血液・感染症内科学 Medical Oncology, Hematology & Infectious Disease
主任教授 髙松 泰
- 血液悪性疾患に対する造血幹細胞移植、造血幹細胞の骨髄から末梢血への動員の機序
- 内科学一般、血液内科学

心臓・血管内科学 Cardiology
主任教授 三浦 伸一郎
- 冠動脈インターベンションによる治療成績の比較、薬剤が冠動脈におよぼす効果、新たなデバイスの評価
- 循環器内科学

呼吸器内科学 Respiratory Medicine
主任教授 藤田 昌樹
- 非結核性抗酸菌症の発症機序解明と新規治療法の開発、COPDの新規治療、肺癌における発熱性好中球減少症の発症予防と治療法、肺線維症の新規治療
- 呼吸器内科学

脳神経内科学 Neurology
主任教授 馬場 康彦
- パーキンソン病の早期診断法の確立
- ニューロモデュレーション治療
- 脳神経内科

小児科学 Pediatrics
主任教授 永光 信一郎
- 小児期発症の摂食障害の脳機能画像、子どもの心的外傷後ストレス障害の臨床と治療、研修医の疲労とストレス
- 小児心身症全般、小児神経全般

内分泌・糖尿病内科学 Endocrinology & Diabetes mellitus
主任教授 川浪 大治
- 糖尿病合併症の成因と治療
- 代謝学

消化器内科学 Gastroenterology and Hepatology
主任教授 平井 郁仁
- 炎症性腸疾患の治療
- 消化器内科学

腎臓・膠原病内科学 Nephrology & Rheumatology
主任教授 升谷 耕介
- 難治性ネフローゼ症候群の診療指針作成、難治性血管炎に関する調査研究
- 腎臓内科学

精神医学 Psychiatry
主任教授 堀 輝
- 精神医学
- 精神薬理学、産業精神医学、生物学的精神医学、精神療法、スポーツ精神医学

皮膚科学 Dermatology
主任教授 今福 信一
- 尋常性乾癬の治療によるphenotypic changeに関与するサイトカインについての研究
- 皮膚科学

放射線医学 Radiology
主任教授 吉満 研吾
- 肝のMRI、腹部臓器のMRI、胆のう静脈のCT
- 放射線科学

呼吸器・乳腺・小児外科学 Thoracic Endocrine and Pediatric Surgery
主任教授 佐藤 寿彦
- 胸部外科(呼吸器縦隔、内視鏡外科手術、内分泌外科、癌免疫、医用工学)、外科教育法
- 胸部外科学

脳神経外科学 Neurosurgery
主任教授 安部 洋
- 脳血管障害、脳腫瘍、脊髄脊椎病変、機能的疾患、頭部外傷、小児疾患の外科治療
- 脳神経外科学

形成外科学 Plastic & Reconstructive Surgery
主任教授 髙木 誠司
- 創傷治癒、頭蓋顎顔面外科、マイクロサージャリー、乳房再建
- 形成外科学

耳鼻咽喉科学 Otorhinolaryngology
主任教授 坂田 俊文
- 耳閉感に関する研究、耳鳴に関する研究、聴覚過敏に関する研究
- 耳鼻咽喉学

産科婦人科学 Obstetrics and Gynecology
主任教授 四元 房典
- 産婦人科疾患の先進ゲノム解析研究、トランスレーショナル研究および再生医療研究
- 産婦人科学

歯科口腔外科学 Oral and Maxillofacial Surgery
主任教授 近藤 誠二
- 結合組織成長因子CCN2のリンパ管新生における制御機構の解明、Oral microbiomeと動脈硬化性疾患の関連についての探索研究
- 外科系歯学

救命救急医学 Emergency and Critical Care Medicine
主任教授 仲村 佳彦
- 敗血症に対する新規診断・治療法の探索
- 急性期脳梗塞に関する基礎的研究
- 救急医学

消化器外科学 Gastroenterological Surgery
主任教授 長谷川 傑
- 消化器癌治療・低侵襲手術
- 消化器外科学、外科学一般

心臓血管外科学 Cardiovascular Surgery
主任教授 和田 秀一
- 大動脈外科(急性大動脈解離、胸部大動脈瘤、ステントグラフト)補助人工心臓補助循環
- 心臓血管外科学

整形外科学 Orthopedic Surgery
主任教授 山本 卓明
- 股関節疾患(特発性大腿骨頭壊死症、臼蓋形成不全、脆弱性骨折など)、関節温存術、スポーツ外傷・障害
- 整形外科学(股関節疾患、スポーツ疾患)

眼科学 Ophthalmology
主任教授 平山 雅敏
- ウイルス性眼疾患の薬物治療法の開発
- 眼科学

腎泌尿器外科学 Urology
主任教授 羽賀 宣博
- 排尿障害の改善や、前立腺肥大症の発症機序の解明に向けた基礎的研究、手術支援用ロボット手術を用いた低侵襲手術や腹腔鏡手術、泌尿器癌の薬物治療
- 泌尿器科学

麻酔科学 Anesthesiology
主任教授 秋吉 浩三郎
- 遠隔モニタリング、非侵襲的循環モニタリング、周術期の栄養管理、AIを用いた麻酔・鎮静管理
- 麻酔科学

臨床検査医学 Laboratory Medicine
主任教授 小川 正浩
- 脂質代謝異常関連疾患の病態解明、糖代謝異常関連疾患の病態解明、不整脈の病態解明
- 循環器内科学

総合診療学 General Medicine
主任教授 鍋島 茂樹
- 一般内科学、救急医学、感染症学、漢方医学

医学教育講座

医学教育推進講座 Medical Education Center
主任教授 北島 研
- 社会に貢献できる良き臨床医を育てる

倫理学講座

生命医療倫理学 Bioethics and Medical Ethics
主任教授 今泉 聡
- 医療倫理、医学系研究の倫理、徳倫理
- 生命医療倫理学

医学 カリキュラム・ツリー

各学年における修得目標

M1

M2

M3

M4

M5

M6

早期臨床体験

基礎医学の修得

- 人格形成、プロフェッショナリズムの涵養
- アクティブ・ラーニングの実践
- 研究マインドの涵養

臨床医学知識の修得

- プロフェッショナリズム
- 生命倫理に基づいた医療
- コミュニケーション能力、臨床知識・臨床技能（診察、検査、診断、治療）の向上
- チーム医療の実践
- グローバルな視野と地域医療
- 科学的探求心と自律学修能

共通教育科目

共通教育科目については、共通教育科目部分のみを対象とした別のカリキュラム・ツリーで詳細を示す。

専門教育科目（　）は科目名、すべて必修科目

基礎医学
（解剖学Ⅰ、生化学Ⅰ、医学生のための生命科学）

早期臨床教育
（医学概論、行動科学Ⅰ、医学入門）

↓

基礎医学
（組織細胞生物学総論・遺伝学・発生学、組織細胞生物学各論、微生物学、寄生虫学、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、グローバル人材演習、薬理学Ⅰ、免疫学、生化学Ⅱ、解剖学Ⅱ、研究室配属、病理学総論）

臨床医学
（臨床医学入門Ⅰ）

↓

基礎医学
（薬理学Ⅱ、病理学各論、公衆衛生学、法医学、医療情報社会学）

臨床医学
（臨床医学入門Ⅱ、行動科学Ⅱ、内分泌・代謝病学、消化器病学、呼吸器病学、感染症学、放射線科学、腎・泌尿器・膠原病学、皮膚・形成外科学、眼科学、腫瘍・血液学、循環器病学Ⅰ、検査診断学Ⅰ）

↓

基礎医学
（再生・移植医学）

臨床医学
（脳神経病学、精神医学、救命救急医学、麻酔科学、整形外科学、症候・病態学演習、クリニカルクラークシップ入門、クリニカルクラークシップⅠ、行動科学Ⅲ、産科婦人科学、検査診断学、小児医学、循環器病学、頭頸部病学、CBT演習）

↓

医学生共用試験
CBT・OSCE

↓

臨床実習生

M4 12月中旬よりスタート

診療参加型臨床実習

M5（クリニカルクラークシップⅡ）
M6（クリニカルクラークシップⅢ）

M5（統合講義）

M6（領域別集中講義Ⅰ～Ⅱ）

↓

PCC-OSCEによる臨床実習評価〈客観評価〉

ディプロマ・ポリシー（卒業時アウトカム）の達成

『模擬講義NAVI』って何？

「大学の講義は専門的で、難しそうなイメージ…」そう考える人も少なくないでしょう。しかし、大学での学びの対象は、身近な話題に関するものから時空や想像の域を超えたものまで実にさまざまで、知的好奇心をくすぐられます。模擬講義は、自分の興味・関心のある分野を見つける絶好のチャンスです。

詳しくは入試情報サイトに掲載の『模擬講義NAVI』をご覧ください。

医学部医学科の模擬講義 一覧

教授
安部 洋

脳神経を守る

人体は非常に複雑な構造と機能を持っており、勉強すればするほど生命の神秘を感じます。その中で、脳神経は全身を操る中枢であり、脳神経疾患は患者さんの人生を左右することもあります。脳外科の手術は脳神経を守ることが主な目的ですが、依然として困難な事や未知の領域が多い分野です。それ故に挑戦する価値とやり甲斐が多い分野とも言えます。脳外科の歴史、現在、未来について概説します。

専門分野 脳神経外科学

教授
有馬 久富

医師のやりがい：命の現場で働きながら医療の進歩に貢献する

医師を目指す人の多くは、「人の役に立ちたい」という想いをもって命の現場で働いています。同時に、多くの医師が、命の現場で働きながら、臨床研究（新たな医療を検証し、実用化につなげる研究）に貢献しています。新たな医療が実用化されれば、さらに多くの患者さんの命を救えることになります。

専門分野 臨床研究・公衆衛生

教授
川浪（かわなみ） 大治

医学生の視点が新たな発見につながる

インスリンは糖尿病治療に欠かせない薬ですが、この発見には医学生が重要な貢献をしています。カナダ・トロント大学の医学生だったベストは、医師のバンティングと共にわずか8週間ほどの実験によって、血糖値を下げるインスリンを発見したのです。若き希望と情熱を抱き、この挑戦を成し遂げたのです。インスリンは発見から100年以上経過した現在でも使われている重要な薬です。

専門分野 糖尿病、内分泌・代謝疾患

教授
小玉 正太

最先端医療としての再生医療とは ― 異種移植・細胞治療を中心に―

最先端医療としての再生医療はここ数年で著しい進歩を遂げています。我々が取材を受け、テレビ東京『W_B_S_（ワールドビジネスサテライト）』で放送された、異種移植治療の最前線について、ヒト以外からの臓器・組織・細胞提供による移植について紹介します。再生医療は幹細胞治療だけではありません。加えて、再生医療に包括され福岡大学病院で提供される細胞移植治療として膵島移植を紹介しましょう。

専門分野 再生医療、異種移植、細胞移植

教授
立花 克郎

医学生の無限の可能性

医師になるには基礎医学と臨床医科学の両方の分野を勉強しなければならない。本講義では医学部在学中にどんな勉強をし、卒業後どんな進路があるのか説明する。私自身の研究経歴と重ねながら分かりやすく講義する。

専門分野 解剖学・医用工学

教授
三浦 伸一郎

医師を目指す、今できること

現在、心臓病や血管病は、社会の高齢化に伴って増加の一途をたどっています。このような病気にならないようにするには、若いうちから動脈硬化を予防できる生活習慣を身に付け、生活習慣病にならないようにしておくことが重要です。「動脈硬化が引き起こす心臓病や血管病とはどのような病気か」や「自らがどのようにその予防を実践すべきか」を分かりやすく概説します。

専門分野 心臓・血管内科学

教授
山本 卓明

知っていますか？ ―スポーツと医学の関係 ―

スポーツをするプロの選手から趣味レベルの選手に至るまで、医学はスポーツ活動に深く関わっています。例えば、けがをした時の治療、復帰プログラム、コンディショニング、など医学的観点から大きく関与しています。実際にどのように治療するのか、などを含めて、医学の関与の実際をお伝えします。

専門分野 整形外科学、スポーツ医学

教授
和田 秀一

チャンスを逃さない

外科医を志す人は誰でも大手術や難手術ができる大外科医になりたいと思うものです。また、どんな職業につくにしても、人は皆その道のプロフェッショナルになりたいとチャンスを求めていると思います。私自身が心臓外科医としてチャンスをつかむ過程をお話しすることで、チャンスが身近にあることに気付いていただければと思います。

専門分野 心臓血管外科学

医学科Q&A

Q 共通教育と専門教育について教えてください。

A 医学部に入学後、1学年に行われる共通教育センターの教育では人間や文化の多様性を理解する哲学・文学・社会学など総合大学ならではの多彩な科目が準備されています。また、他学部生との共修により、幅広い思考や交友関係、情報の共有による学問のみならず人間的連帯感を育成します。医学科・看護学科・薬学部・スポーツ科学部と一緒に、健康や医療に関する多職種連携を目的とした学部横断的クラスもスタートしました。

急速に進歩しつつある医学の動向に対応して、医学科においても、看護学科においても、早期からそれぞれの専門性に合わせた科目が始まります。具体的な内容は、各学科の紹介を参照してください。

Q 三つの大学病院があると聞きましたが？

A 本学は、福岡大学病院、福岡大学筑紫病院、福岡大学西新病院という三つの大学病院を擁し、多数の教授陣・専門医による充実した学生教育が行われており、恵まれた卒後研修の場を有しています。福岡大学病院は医学部に隣接し、特定機能病院として人に「あたたかい医療」を提供する役割を担っています。また、2024年5月には、福岡大学病院新本館が開院しました。福岡大学筑紫病院は筑紫野市にあり、地域に密着した救急医療などを通して質の高い医療と情報の提供に努め、地域医療を支援する役割を担っています。福岡大学西新病院は市内早良区に位置する福岡市医師会成人病センターを譲受し、2018年4月に開院しました。

これら三つの病院は、医学科のみならず、看護学科、薬学部学生の病院実習の場としても大きな役割を担っています。

Q 取得できる資格や卒後の進路はどうなっていますか？

A 医学科の卒業試験は6学年に行われ、合格すると卒業でき、学士（医学）となります。学士の取得が医師国家試験の受験資格となります。また医学を履修する大学院の博士課程（4年制の博士課程）へ進学可能です。

医師国家試験は毎年2月に行われ、3月中旬に合格が発表され、その後医師免許が交付されます。臨床に携わる医師は、医師免許取得後、それぞれ大学病院等の研修指定病院において内科、外科、麻酔科、産婦人科、小児科、精神科、地域医療などの主要分野について2年間の臨床研修（初期）を受け、医師として必要な基本的で最低限の技能を学ぶことが義務付けられています。

研修医修了後、専門医制度に則り専門性の高い領域での研修に取り組んだり、研究に取り組むことになります。

Q どんな医師を目指して勉強するの？

A 豊かな人間性と高度な知識・技術を兼ね備えた医師を目指します。

医学・医療の進歩は目覚ましく、疾患の解析は分子レベルに進んでいます。病因遺伝子の発見や免疫獲得機序の解明など、画期的な発見が相次ぎ医療の先進性はますます加速し、医療の現場は歴史上、類を見ない長寿社会を実現するに至りました。その一方で、癌、エイズ（後天性免疫不全症候群）などの難病の発症機構の解明や治療法の確立など、課題が山積しています。

また、「臓器の移植に関する法律」や「臨床研究法」が実施されました。遺伝子の解析や精密医療が進んだことによる生命操作などの論議が衝撃的に報道され、医療は単に医学界に留まらず、法律・倫理など深く人間の根幹に関わる問題として探究されなければならない時代を迎えています。

本学科では、これからの時代の医師に不可欠な高い倫理観と豊かな人間性を育む教育を行います。

Q どんなふうに勉強するの？

A 基礎医学、臨床医学、臨床実習を包括的に学びます。

医学知識はもとより、患者さん中心の医療の実践、信頼される人間関係を構築する能力、課題探求・解決能力、安全性への配慮が求められています。このような社会の要請に対して医学科では、“6年一貫教育”を導入し、基礎医学・臨床医学、臨床実習は、全て“らせん状”につながっています。基礎医学が終了して臨床医学を学ぶのではなく、統合された包括的な医学を学ぶのです。

Q 少人数教育とは何ですか？

A 研究室配属、テュートリアル教育、クリニカルクラークシップなどがあります。

研究室配属

1学年、2学年の学生が約10人程度のグループに分かれて、2～4週間単位で基礎系・臨床系の研究室をローテートします。各研究室の教員との交流を通して、医学部での学習や学生生活の問題に対するケア、支援、研究マインドの涵養を行うことを目的としています。

テュートリアル教育

1学年から基礎医学の全体講義・実習が始まりますが、これと並行して、2学年にはテュートリアルと呼ばれる少人数教育が行われます。このカリキュラムでは、学生が、教員（テューター）の指導の下、グループ討論と自己学習によって現実の事例や症例の課題を解決しながら、学習を進めていきます。学生が自発的に知識を体系化し、問題解決能力を身に付けていくことを目指しています。

クリニカルクラークシップ

臨床医学の学習では、学生が臨床現場を見学するだけでは不十分であり、実際の診療に携わることが不可欠です。そのために臨床実習を開始してもよい知識と最小限必要な技術があるかどうか客観的臨床能力試験（OSCE＝Objective Structured Clinical Examination）で評価します。クリニカルクラークシップⅠおよびⅡでは、病院の各科を約58週にわたり1～4週間単位で回って行き、実際に患者さんと接しながら、学生医師として『診療参加型臨床実習（クリニカルクラークシップ）』により、臨床を具体的に学びます。学生は診療チームの一員として、患者さんの診療に参加し、診断・治療計画の策定、カルテへの記載、医療スタッフへの情報の伝達などを行います。個々の学生の態度・技能・知識の到達度に合わせてチーム内での役割を与え、能力が向上すればより進んだ役割へ移行します。さらに卒業前（6学年）に、修得した臨床技能は臨床実習後OSCE（Post CC-OSCE）で評価されます。

Q 医師になるための資格試験とは何ですか？

A 共用試験と医師国家試験です。

共用試験

医学生が診療チームの一員として学習を続けるためには、医師として求められる必要不可欠な態度・技能・知識および問題解決能力が身に付いていることを、患者さんと社会に示す必要があります。臨床実習開始前までに医学生が習得しておくべき基本的態度・技能・知識が明示された「医学教育モデル・コア・カリキュラム：教育内容ガイドライン」に準拠して、臨床実習開始前の段階で医学生を評価するのが共用試験です。令和5年4月から「医学生共用試験」として、全国統一基準で合否の判定が行われています。前述したOSCEとCBTですが、4学年後半に受験します。当然、各科の試験に合格する必要があります。6学年のPCC-OSCEも共用試験です。公益財団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構（CATO）や他大学の教員が外部委員として評価します。

医師国家試験

医師として第一歩を踏み出すに際し、卒業後に具有すべき医学および公衆衛生に関する知識・技能について試験を受けます。将来、医学・医療を自主的に学び続ける能力を判断するものであり、自分自身の力で超えなければならない関門です。このことを少しでも早く自覚して計画的に学習を進めることが重要です。福岡大学医学部生の第119回医師国家試験合格率は、新卒94.6%（受験者数92人、合格者数87人）となっています。卒業と同時に取得すべき資格です。

Q マッチングとは何ですか？

A 「医師免許取得後の臨床研修病院選考」のことです。

医師の臨床研修の義務化により、学生自らが指定されている病院の中から、卒後に臨床研修を受けたい病院を選び、在学中にそこの選考試験を受ける制度のことを、マッチングと言います。最終学年の夏頃までに、希望する病院の選考試験を受けるという点は、一般の就職活動と似ています。しかし、臨床研修は医師法による義務制度であり、就職が決まらずに臨床研修できない研修医が出ることは避けなければなりません。そこで全国の病院と学生の希望とを登録させ、コンピュータで一斉にマッチさせる仕組みになっています。2年間の臨床研修実績がないと臨床医にはなれません。

［医学部］

看護学科

未来を支える看護

教育目標

1 ｜人間性を養う
感性豊かな教養と高い倫理観を身に付けた、心豊かな人間性を養う。

2 ｜柔軟な思考力を養う
高度な専門知識と技能を身に付け、健康問題を科学的・総合的に考えることのできる、自主性と創造性に富む柔軟な思考力を養う。

3 ｜協働・連携の能力を養う
チーム医療を通して、それぞれの専門の特徴や共通性を学び、専門職としてのコミュニケーション能力を養う。

4 ｜学際的能力を養う
看護の専門性の確立を目指した実践・教育・研究の基礎を身に付け、他領域の人々と連携できる学際的調整能力を養う。

5 ｜科学的探究の態度を養う
生涯を通して、保健・医療・福祉における連携・協働、科学的探究の態度を継続できる能力を養う。

6 ｜国際的視野を養う
将来専門職として、幅広い社会的活動および国際的な医療活動ができる能力を養う。

Message　主任メッセージ

高い専門性と自律性に基づいた看護が提供できる能力と生涯にわたって自己研鑽する力を育成し、看護学の発展と地域・国際社会に貢献できる医療人を育成。

看護学科主任　宮城 由美子　MIYAGI Yumiko

看護は、病気でも病気でなくても、たとえば、子どもが健全に育つために・働き盛りの人が毎日元気に職場に行けるために・高齢者が幸せに日常を過ごし本人や家族が望む最期を迎えられるために、看護の対象に寄り添い、その人を知りながらその人にあった方法であらゆる場で生活を支えようとするものです。

看護が必要とされる場は拡大しています。看護が全ての人が対象とする限り、人々がいるすべての場が「看護の場」になります。どのような場でも看護の専門性と独自性を表現できる看護職者として成長できる事が重要となります。そのため看護者としての思考力や判断力、技術力などの実践力を、講義・演習・実習を通して学びます。特に本看護学科での講義・演習ではさまざまな領域（基礎・成人・老年・小児・母性・精神・在宅・公衆衛生）を横断する内容を編成した科目を設け、看護のあらゆる対象者や場を広い視野で捉えることができるようなカリキュラムにしております。特に実習は福岡大学病院、福岡大学筑紫病院、福岡大学西新病院、さらに地域で生活する対象者の身近な保健・医療・福祉施設において臨地実習を1年次早期より展開しています。

福岡大学は9学部31学科がOne Campusで学べる総合大学です。正課の科目はもちろん、サークル活動など他学部学生との交流を通しさまざまな人と関わり、多様な価値観を理解できるように福岡大学の環境の中で視野を広げつつ成長することができます。

看護職には、臨床や地域での看護実践者、研究者や次世代を育成する教育者等、幅広い活躍の場があります。本看護学科で看護学を学ぶことは、看護職として多様な選択肢を持つことが可能になります。多様な選択肢の中から自分自身の進む道を選び、「看護学を通して地域・国際社会に貢献できる人」を目指しましょう。

看護学科

School of Nursing

人々の健康な生活に貢献できる
創造的な看護職者を目指して、幅広く看護学を学ぶ。

教育目的

生命の尊厳に基づいた心豊かで総合的な人間教育を基盤として、創造的で国際的・学際的視野に立った論理的・倫理的な看護実践能力を育成し、看護学の発展ならびに地域・国際社会に貢献できる高い能力を有する看護専門職者を養成します。

看護学は、自然科学と人間科学を包括し、幅広い教養や見識が必要とされる学際的学問です。そのことを大前提に、福岡大学病院や福岡大学筑紫病院からのサポートをはじめ、恵まれた環境を利用して教育を推進します。地域はもとより国際社会における医療に尽くし、人々の健康・幸福に貢献できる創造的な看護人材を育成します。

求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学習しており、看護学を学ぶために十分な基礎学力を有している人
B	技　能	自らの視点で物事を順序立てて説明し、他者と良好な人間関係を築くことができる人
C	態度・志向性	人々の健康と生活を支える看護専門職を目指す高い志と倫理観をもち、自ら学び、自己の成長を目指し、挑戦しようとする人
D	その他の能力・資質	英語の資格を取得した人や課外活動・ボランティア活動に積極的・継続的に参加し活躍した人

求める人材像（求める能力）の詳細は

看護学科での4年間

1／2年次　看護の基本

1・2年次は看護の基本である人と健康を理解し、ヒューマンケアの基礎的能力を高めるために策定された看護コアカリキュラムに基づき、コアコンピテンシーの習得を目指した理論と知識を学びます。また、1年次の早期看護体験実習をはじめとしたさまざまな臨地実習において看護実践の基礎的能力を養います。

→

3年次　看護の展開

3年次前期まで学んだ看護に必要な理論と知識を統合し、3年次後期からの臨地実習において、カリキュラムの科目構成に即した発達課題別看護や特定の健康課題に対応する看護実践能力を高めます。

→

4年次　看護の発展

4年次は看護専門職者として研鑽し続ける基本能力を向上させます。また、人々の健康生活のためのアセスメント能力をさらに高め、エビデンスに基づいた看護実践能力と倫理観を養います。

→

卒業後

- 看護師
- 保健師（選択制）
- 養護教諭一種（選択制）
- 高等学校教諭［看護］（選択制）
- 大学院修士課程進学
- 助産師課程進学

取得可能な資格・免許

- ☑ 看護師国家試験受験資格
- ☑ 養護教諭一種免許状（所要の科目を履修し単位を修得した者）
- ☑ 養護教諭二種免許状（保健師免許交付を受けた後申請し取得）
- ☑ 保健師国家試験受験資格（所要の科目を履修し単位を修得した者）
- ☑ 高等学校教諭一種免許状（看護）（所要の科目を履修し単位を修得した者）
- ☑ 第一種衛生管理者資格（保健師免許交付を受けた後申請し取得）

在学生の声（『大学案内2026』）

学科公式ウェブサイト

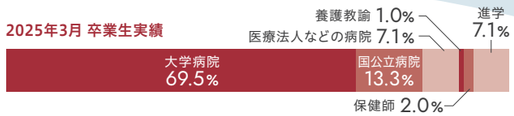
国家試験合格実績（2024年度）

看護師
100%
全国平均合格率 90.1%
合格者数100人
受験者数 100人

保健師
100%
全国平均合格率 94.0%
合格者数18人
受験者数 18人

主な就職・進路先

2025年3月 卒業生実績



［ 就職先の例 2022年度～2024年度 ］

看護師
- 福岡大学病院
- 福岡大学筑紫病院
- 九州大学病院
- 東京大学医科学研究所附属病院
- 京都大学医学部附属病院
- 大阪大学医学部附属病院
- 神戸大学医学部附属病院
- 慶應義塾大学病院
- 虎の門病院（国家公務員共済組合連合会）
- 順天堂大学医学部附属病院
- 北里大学病院
- 東京医科大学病院
- 杏林大学医学部付属病院
- 日本医科大学病院
- 福岡県済生会福岡総合病院
- 九州医療センター（国立病院機構）
- 浜の町病院（国家公務員共済組合連合会）
- 九州中央病院（公立学校共済組合）
- 福岡赤十字病院
- 福岡市立こども病院
- 福岡東医療センター
- 久留米大学病院
- 長崎大学病院
- 鹿児島大学病院

保健師
- 福岡県内

養護教諭
- 福岡市立小学校
- 福岡県立高校

など

福岡大学病院・福岡大学筑紫病院への就職に関しては、**福岡大学の学生を優先**した**先行選抜試験制度**があります。

卒業生の声

母性領域の実習がきっかけで進路を確立。築いた看護観を支えに助産の道を極める。

本学科の4年次には興味のある領域を深めることができる総合実習があり、私は母性領域を選択しました。実習では、現在の職場である新生児治療回復室で若年妊婦のハイリスク事例を受け持ち、大学病院だからこそ可能な対応力の高さを実感しました。また、働く助産師の姿を目の当たりにし、母子ケアの重要性も知りました。この経験がきっかけとなり、ハイリスク事例に対応できる実践能力を身に付けた助産師になるという夢が見つかりました。数々の実習のおかげで、指針を見つけ、向上心を持つことができました。

卒業後は1年制の助産課程へ進学し、現在は急性期を脱した子どもとその家族への退院支援をしています。働く上で、患者さんが自分らしい生活を送れるよう一人の「生活者」と捉えて支援することを心掛けています。患者さんに寄り添い、共に悩んで伴走する姿勢とその大切さは、本学科にいたからこそ気付くことができたと思います。

井筒 菜々香 さん（2020年卒業）
福岡大学病院
（総合周産期母子医療センター新生児部門・看護師／助産師）

臨床実習での学びが保健衛生・感染症対策の実践に。ポストコロナ時代の地域保健医療を支える。

今や看護職は、クリニックや病院の中にとどまらず、保健師として保健衛生に携わる医療系公務員など、医療専門職として活躍の場が多くあります。私もその一人で、現在、福岡県の保健福祉環境事務所という組織の中で地域の医療・保健・福祉に関する住民サービスの提供や課題解決、市町支援などに取り組んでいます。

本学科では、キャンパスにある大学病院での臨床実習とともに、地域医療に関する幅広い知見を多面的に身に付けるための基礎看護学や公衆衛生看護学などの専門看護学を学びます。特に保健師実習の中では、現場の保健師さんが住民の方々に寄り添いながら地域での生活を支援する姿に強く感銘を受けました。在学中の看護・保健師実習を通じて、患者さんや地域の方々と直接関わることで、健康課題を把握し、その解決に向けた看護や健康教育を実践する貴重な経験を積むことができました。この学びは、地域で暮らす皆さんが安心して生活できるような支援を提供していく今の仕事に生きています。

西田 有李 さん（2023年卒業）
宗像・遠賀保健福祉環境事務所
（保健師）

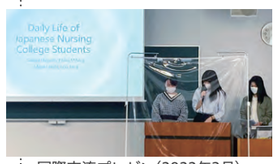
看護学科の4年間

● 必修科目　○ 選択必修科目　▲ 選択科目

共通教育科目　総合教養科目、外国語科目、保健体育科目など

新入生オリエンテーリング（2022年4月）

専門基礎領域



国際交流プレゼン（2022年3月）

公衆衛生看護学

学園祭

看護研究発表会

卒業式・学位記授与式

専門基礎科目

- ● からだの構造と機能Ⅰ
- ● からだの構造と機能Ⅱ
- ● からだの防御のしくみ
- ● 薬のはたらき
- ● 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ
- ● 食と生活
- ● コミュニケーション論
- ● 公衆衛生学
- ● 看護情報学

- ● 薬のはたらきと薬物療法
- ● 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ
- ● 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ
- ● 医療安全と多職種連携
- ● 保健医療福祉行政論

- ● 看護研究入門
- ▲ 疫学・保健統計
- ▲ 健康相談活動

専門教育科目

1年次	2年次	3年次	4年次
看護の基本	看護の基本	看護の展開	看護の発展

1年次
- ● 看護学概論
- ● 成人看護学概論
- ● 精神保健
- ● 生活看護技術
- ● 基礎看護学実習Ⅰ
- ● 早期看護体験実習
- ▲ 学校保健

2年次
- ● 精神看護学概論
- ● 老年看護学概論
- ● 在宅看護概論
- ● 発達看護概論
- ● 看護過程展開技術
- ● ヘルスアセスメント
- ● 診療看護技術
- ● 看護の理論と倫理
- ● 基礎看護学実習Ⅱ
- ● 急性期の看護
- ● 慢性期の看護
- ● 回復期・リハビリテーションと看護
- ● 発達看護
- ● 発達看護実習Ⅰ
- ● 公衆衛生看護学総論
- ● 災害看護
- ● 国際保健看護
- ○ 健康行動科学入門
- ▲ 養護概説
- ▲ 健康行動科学方法論
- ▲ 公衆衛生看護活動論Ⅰ

3年次
- ● 家族看護論
- ● 終末期の看護
- ● 病気をもつ高齢者の看護
- ● 周産期の看護
- ● 病気をもつこどもと家族の看護
- ● 精神看護実践論
- ● 在宅看護実践論
- ● 看護技術総合学習
- ● クリティカルケア看護実習
- ● 周術期看護実習
- ● 慢性期看護実習
- ● 精神看護学実習
- ● 老年看護学実習
- ● 発達看護実習Ⅱ
- ○ がん看護
- ▲ 公衆衛生看護活動論Ⅱ
- ▲ 公衆衛生看護活動論Ⅲ

4年次
- ● 看護管理
- ● 看護研究
- ● 在宅看護論実習
- ● 統合実習
- ○ 先端医療と看護
- ▲ 健康政策論
- ▲ 公衆衛生看護学実習

卒業後

- 看護師
- 保健師（選択制）
- 養護教諭一種（選択制）
- 高等学校教諭［看護］（選択制）
- 大学院修士課程進学
- 助産師課程進学

基礎看護学

在宅看護

発達看護実習Ⅰ

公衆衛生看護学活動論Ⅱ演習（2022年）

ヘルスアセスメント演習（2022年）

成人看護学

精神看護学

老年看護学

発達看護

公衆衛生看護学実習（2022年）

病気をもつこどもと家族の看護

周産期の看護

在宅看護論実習（2022年）

選択履修コース

養護実習

看護科教育法Ⅱ

1. 保健師になるための課程

地域で生活している人びとの健康を守り、健康増進していく公衆衛生看護の主要な概念や基本的な考え方、地域のさまざまな場で働く保健師の活動内容の概念とその意義を学びます。

● 保健師国家試験受験資格（所要の科目を履修し単位を修得した者）

2. 養護教諭になるための課程

児童生徒の健康と幸福のために貢献できる人材の育成を目的としています。学校保健の理念や養護教諭の職務を学びます。特に、近年問題となっているいじめや不登校、虐待等のメンタルヘルスの課題に対応するために健康相談の技法を学び、支援ニーズに合わせた実践力を高めます。

● 養護教諭一種免許状（所要の科目を履修し単位を修得した者）

3. 高等学校教諭［看護］になるための課程

看護教育を担う教員の育成を目的としています。看護学の履修を土台とした教職課程科目を履修し、高等学校教諭［看護］として必要な基礎的資質を養います。

● 高等学校教諭一種免許状（看護）（所要の科目を履修し単位を修得した者）

看護学科の学びの特色

多彩な科目を学び、豊かな教養を身に付ける

共通教育科目は、学部学科にかかわらず人間・社会・科学・自然等について豊かな教養を持った、心身共に健康な人として成長するための科目です。今後の人生を豊かで実りあるものにするには、各学科で学ぶ高度な専門知識と同時に幅広い教養が欠かせないのです。

三つの大学病院で実践力を育成

福岡大学病院（771床）、福岡大学筑紫病院（310床）、福岡大学西新病院（117床）の三つの総合大学病院での臨地実習で、充実した看護技術の習得が可能です。また、最新の人体モデル機材を使った演習や体験学習を積極的に取り入れた授業を行います。

福岡大学病院

福岡大学筑紫病院

福岡大学西新病院

地域の生涯学習機会の拠点

健康に関する情報を公開講座などを通して地域に発信し、住民の健康の維持・増進に貢献します。

公開講座

国際化に対応する人材育成

看護学科では独自の看護国際交流プログラムを持っています。本プログラムは、本学科の教育目標の一つである「将来専門職として、幅広い社会活動および国際的な医療活動ができる能力を養う」の教育の一環として位置付けられています。プログラムでは、隔年で実施している韓国啓明大学校への1週間の留学（2009年度より）、米国ウオッシュバン大学への約2週間の留学（2012年度より）により、現地の病院や施設見学だけでなく、看護教員による講義や学生とのディスカッション、ホームステイなどを通して自己の看護観を深め、異文化交流を図ります。また、啓明大学校、ウオッシュバン大学看護学生の本学への短期留学も隔年で受け入れており、留学生との学びのディスカッションやホストファミリーとして交流する機会もあります。

米国 ウオッシュバン大学との相互研修

韓国 啓明大学校との国際交流

学生の主体的活動

看護学科自治会

新入生歓迎会の時の集合写真

学生自治会では、福岡大学看護学科のみんなが楽しく過ごせるように日々活動しています。具体的な内容としては、新入生歓迎会などのイベント運営や卒業アルバム制作といったものから、国家試験対策といった学業に関することまで、幅広く行います！ 一緒に学生生活を充実させましょう！

メンタルサポート研究会

公民館のサロンでの健康教室

メンタルサポート研究会は高齢者が地域に出て交流を深め地域のつながりが強化することを目標として活動しています。活動内容は地域の公民館のサロンに参加し健康教室を開催したり、高齢者のお宅を訪問したりしています。

Eggs

応急手当普及員講習

私たちは、“看護師のたまご”として、地域社会に貢献することを目的としたサークルです。主に、一次応急手当やAEDの使用方法などを広める活動を行っています。他にもボランティア活動を通して、地域の方々との触れ合いも大切にしています。

ポニョボランティアサークル

福岡大学病院小児病棟でのボランティア

ポニョボランティアサークルは病院で生活している子どもや地域で生活している子どもを対象にボランティア活動を行っています。内容は福岡大学病院の小児病棟に掲示する壁紙の作成、夏祭りやクリスマス会などの行事のお手伝いを中心に行っています。

へるすなび

韓国の留学生との交流活動

私たちはSDGsの目標3「すべての人に健康を」を主軸に留学生の健康維持に貢献するための活動を行っています。留学生の方に対し健康カフェを実施したり、交流することで自分自身の語学力を向上させたりしています。ぜひ興味がある方お待ちしています！

看護学科の学びの特徴

看護学科では、講義・演習・実習・研究のほか、自治会やボランティアサークルなどの正課外活動で、幅広く人々の健康について考える機会があります。福岡大学医学部や福岡大学関連病院との密な連携により、基本的な知識・技術・態度に加えて、最先端の医療や実際の医療に即した発展的な学習ができます。

看護学科の講義では、通常の講義のほかに、臨床の専門家による講義や動画を用いた学習ができます。演習では、フィールドワーク、学生によるロールプレイ、模擬患者さんによる演習、シミュレーション学習、客観的臨床能力試験（OSCE）、VR（virtual reality）演習など、多様なアクティブラーニングによる学びを経験できます。そして、これらの学びを実習へと生かし、4年生の卒業研究へとつながります。

福岡大学医学部看護学科の
- DP（ディプロマポリシー）
- CP（カリキュラムポリシー）
- カリキュラムツリー

はこちらから

看護技術総合学習
（3年次前期）

領域別臨地実習に向けて、対象のニーズを充足するために必要な観察と看護援助を統合して実践する能力を目指し、事例に基づく講義-演習-OSCEの形式で学びます。臨床状況に近い場面設定の中で、これまでの講義・演習で培った知識・技術・態度を統合して実践する演習主体の科目です。

クリティカルケア看護実習
（3年次後期）

疾病や外傷、侵襲の大きな手術などによって、急激に生命をおびやかす重度の侵襲にさいなまれた人々に対する看護について、福岡大学病院の救命救急センター等で実習を行います。危機的状況にある実際の患者さんを受け持ちます。この実習では、病院前診療（プレホスピタルケア）や、災害医療、救急治療室（ER）などについてVR演習との組み合わせによって、クリティカルケアについて深く学びます。

統合実習
（4年次）

実習病院として福岡大学病院・福岡大学筑紫病院・福岡大学西新病院の三つの大学病院を有しており、常に最新の医療、看護を学ぶことができます。大学病院での高度先進医療の現場で看護実習を行える他、地域医療の知見を得られることも魅力の一つです。座学とは異なるリアルな経験を通して、幅広い看護領域を学習します。

VRを用いた演習

看護基礎教育VRのイメージ（画像提供：ジョリーグッド）

コロナ感染対策を行ったうえでVR体験

VRを使った授業を受ける看護学科の学生

在学中の複数の科目でVRを用いた最先端の学習体験ができます。福岡大学病院と連携し開発したコンテンツのほか、国内外で開発されたコンテンツを用います。

VRでは、患者目線・看護師目線・医師目線・客観目線などの視点から、実際の臨床の場に居合わせたような学習体験ができます。VRによって、「臨床状況の雰囲気を体験できること」「講義や演習での学びが臨床現場でどのように展開されているかをイメージできること」「マネキンを用いたシミュレーション学習の設定状況をより詳しく理解できること」「臨床実践の経験を振り返ること」が期待されます。

VR活用看護教育の関連情報

『テクノロジーの導入により、ますます進化する看護教育』（夢ナビ）はこちらから

分野・領域の紹介

※2025年4月1日現在

専門基礎領域

臨床看護では「根拠に基づく医療(EBM:Evidence-Based Medicine)」の実践が大切になってきます。専門基礎領域では「根拠に基づく医療」の基礎となる人間の身体の構造と機能、疾病や回復過程のメカニズム、薬の働き、体の防御のしくみなどの基礎医学の領域を学びます。

教授 大倉 義文

公衆衛生看護学

予防的視点を持ち、生活の中で対象自らが健康を保持・増進し、健康課題に気付き、解決できるアプローチの基本を習得します。さらに、地域ケアシステムにおける保健医療福祉制度や施策を理解し、地域における看護職の役割について探究します。

教授 江藤 真紀

精神看護学

現代社会のメンタルヘルスに関連する課題を知り、精神的健康の保持・増進のための施策や看護を理解します。また、精神保健医療福祉の歴史的変遷や精神疾患について知り、精神障がいを有する人の人権擁護や看護を学びます。

教授 中島 充代

在宅看護論

地域・在宅看護の対象である地域で生活する人々とその家族への特性を理解し、地域での暮らしを支える対象者の状態に応じた根拠に基づく看護援助の方法や訪問看護師の役割について学びます。

講師 古賀 佳代子

小児看護学

子どもの権利を尊重し、健康・不健康を問わず全ての子どもが安寧に生活でき育つことができるように支援するため、乳児期から思春期までの身体・心理・社会の側面から成長発達について理解していきます。

教授 宮城 由美子

基礎看護学

基礎看護学では、看護学の基盤となる理論や基本的な看護技術を学びます。これらの学習により、看護の対象となる人間や対象を取り巻く環境、健康の意味、看護の役割と機能についての理解を深めていきます。

教授 末次 典恵

成人看護学

成人各期(青年期・壮年期・向老期)の対象の特徴を身体・精神・社会的側面から捉え、特徴的な健康問題の予防と回復を促すケア、緩和ケアの基礎的理論と看護技術について学びます。

教授 緒方 久美子

老年看護学

高齢者の身体的・心理的・社会的特徴を捉え、加齢による諸機能の低下に起因する高齢者の心身の変化や、それに伴う日常生活の影響を学び、疾病の予防と回復の援助ができるための知識と技術を学びます。

教授 榛(いちき) 直美

母性看護学

女性と子どもおよびその家族の健康生活を維持・増進するための看護と、あらゆる健康レベルにある対象に必要な看護について学習します。

教授 佐久間 良子

学校保健

子どもの幸せを目指し、子どもが心・身体・社会に関心をもち、よりよい行動ができるよう支援するために、看護の学びをいかし、学校における保健管理や保健教育について学習します。

准教授 一期﨑 直美

大学院(修士課程)の紹介

看護学領域における看護実践上の問題に主体的・科学的に取り組み、科学的根拠に基づく専門性の高い実践力を持ち、看護を創造的、開発的に探究し続ける高度な実務家を養成することを理念としています。母子健康支援、地域健康支援、看護教育・管理、成人療養支援、高齢者療養支援、および精神健康支援の6つの領域からなる修士論文コースでは、看護に関わる課題を選び、研究プロセスを学びながら修士論文を作成します。また、養護教諭一種免許状を有する者は、必要な単位を修得後、養護教諭専修免許状を取得することができます。高度実践看護師コースでは、クリティカルケア看護を実践的に学びながら課題を見つけ、課題研究(論文)を作成し、修了すれば日本看護協会の専門看護師資格認定審査を受けることができます。

修士論文コース

看護学の高い専門知識・技能を学修する意欲と生命の尊厳を守り、病む人の心を理解する深い感性を有し、看護の質の向上と変革に寄与する意思を持つ人に広く門戸を広げる。看護研究に関する基礎的知識と科学的思考力を基盤に、国内外の幅広い健康課題に関心を持ち、多角的な視点から課題に対する看護・教育の実践、研究を遂行できる人材を受け入れる。

看護教育・管理領域

看護環境の変化や看護管理実践上の課題を理論的・客観的に分析し、看護システムを変革できる能力を有する看護教育・看護管理の実務家を養成する。

成人療養支援領域

成人期以降にさまざまな健康問題を有する対象者とその家族のQuality of Lifeの向上を目指し、急性期、慢性期、終末期の各健康レベルに応じた療養を支援する実務家を養成する。

母子健康支援領域

次世代健全育成や女性の生涯にわたる心身の健康問題の要因と支援方法を探求し、健康増進やQOLの向上を目指して学際的に課題解決を探求する専門性の高い母性看護学・小児看護学・学校保健の実務家を養成する。

地域健康支援領域

保健・医療・福祉のシステムを有機的に連携・調整し、地域における社会環境と生活の支援を推進できる実務家を養成する。

高齢者療養支援領域

高齢者のQOLを維持・向上するために、社会・心理・身体的ケアのアプローチを看護の視点から考究・実践できる実務家を養成する。

精神健康支援領域

精神健康支援に関する保健・医療・福祉において、健康課題を探求し、専門性の高い実践能力と問題解決能力を有する実務家を養成する。

養護教諭専修課程

養護教諭一種免許を有する者は、修士論文コースの必要な単位を修得すると、養護教諭専修免許状を取得することができる。

高度実践看護師コース

高度実践看護に関わる専門知識・技能を学修する課程であり、看護実践に携わる者で高度実践看護に関心と意欲を持つ者に広く門戸を広げる。また専門的な実践を想像していくために、基礎的な語学力、高いコミュニケーション能力、抽象的思考および論理的思考を備えている人材を受け入れる。

クリティカルケア看護領域

高度な看護学の専門知識・技術を駆使して、保健・医療・福祉現場において、複雑な健康問題を有する患者に卓越した直接ケアを提供できる看護師を養成する専門看護分野において、相談・調整・教育・研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践の向上に貢献できる看護師を養成する。

Message | 医学研究科看護学専攻長メッセージ

日々の気づきや課題を明確にし
看護学を追求する学生をサポートします。

医学研究科看護学専攻長 佐久間 良子 SAKUMA Yoshiko

わが国の保健・医療・福祉を取り巻く社会環境は大きく変化し、看護職者の役割や活動の場、また看護職者に対するニーズも多様化してきています。そのような中、看護職者の皆様は日々現場においてさまざまな気づきや課題を感じながら看護実践や教育活動に取り組まれていることと思います。

本看護学専攻は2011年の修士課程(修士論文コース)の開設に始まり、2017年に高度実践看護師コースの設置、2021年に養護教諭専修免許課程が認定され、現在七つの専門領域の看護学を学ぶことができる教育体制となりました。学生は多種多様な科目のゼミや専門領域の枠を超えた研究計画の討議、専門性の高い教員による丁寧な指導を通して自らの専門領域を探求していきます。また、有職者が学びを継続できるよう長期履修制度や昼夜開講制を取り入れており、科目等履修生も受け入れています。

看護学を追求し、新たなチャレンジをしたいと考えている方を教員一同お待ちしています。

看護学科Q&A

Q1 どのような入学生を求めていますか？

A1 看護学科は、学びやさまざまな活動の中で挑戦し続ける意欲あふれる人材や、人との関わりを大切にできるさまざまな能力を有する人材を広く受け入れます。そのために、これまでに培われた基礎学力とともに、活動や経験を通じて身に付けた能力・資質・学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価できるよう多様な入学試験を実施しています。

下記に、「どんな人に入学してほしいか」を示した大学からのメッセージであるアドミッション・ポリシーをお示ししますので参考にしてください。

アドミッション・ポリシー

1. 高等学校の教育内容を幅広く学習しており、看護学を学ぶために十分な基礎学力を有している人
2. 自らの視点で物事を順序立てて説明し、他者と良好な人間関係を築くことができる人
3. 人々の健康と生活を支える看護専門職を目指す高い志と倫理観をもち、自ら学び、自己の成長を目指し、挑戦しようとする人
4. 英語の資格を取得した人や課外活動・ボランティア活動に積極的・継続的に参加し活躍した人

Q2 共通教育と専門教育について教えてください。

A2 入学後、1年次に行われる共通教育では人間や文化の多様性を理解する哲学・文学・社会学など総合大学ならではの多彩な科目の授業が実施されています。共通教育科目は、学部学科にかかわらず豊かな教養を持ち、心身ともに健康な人として成長するための科目です。今後の人生を豊かで実りあるものにするためにも、各学科で学ぶ高度な専門知識はもちろん幅広い教養は欠かせないものです。また、医学科・看護学科・薬学部・スポーツ科学部と一緒に、健康や医療に関する多職種連携を目的とした学部横断的クラスもあります。

専門教育では、看護専門職者としての専門的知識や技術を学びます。急速に進歩しつつある臨床医学の動向に対応して、早期から専門科目の授業が始まります。具体的な内容は、本学部ガイドの12-18ページを参照してください。

Q3 三つの大学病院や地域に密着した医療機関で実習ができると聞きましたが？

A3 本学は、福岡大学病院、福岡大学筑紫病院、福岡大学西新病院を擁しています。これらの三つの大学病院は医学部（看護学科、医学科）と薬学部の学生の充実した臨床実習の教育の場であるとともに、卒業後の就職の場にもなっています。福岡大学病院は700床を超える病床数を有し、医学部と同じキャンパス内にあり、「高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する」特定機能病院です。2011年の病院新診療棟の開院に引き続き、さらなる充実を目的に2024年3月に病院新本館が竣工し5月から稼働の予定です。

福岡大学筑紫病院は筑紫野市にあり、約300床を有する地域医療支援病院・がん拠点病院として、地域の基幹病院の役割を担っています。福岡大学西新病院は市内早良区に位置しており、福岡市医師会成人病センターから地域医療の事業を譲渡され、2018年4月に開院しました。また、看護学科では、福岡市を中心とする近郊市町村の保健・医療・福祉施設でも、多彩な実習を展開しています。

Q4 取得できる資格や卒後の進路について教えてください。

A4 看護学科の卒業に必要な科目の単位を修得すると、学士（看護学）の学位を取得できるとともに、看護師国家試験受験資格が得られます。加えて、保健師の資格取得に必要な科目の単位を修得すると保健師国家試験受験資格がとれます。看護師国家試験と保健師国家試験は同時に受験することができますが、保健師資格の取得は、看護師国家試験に合格していることが前提です。また、養護教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状（看護）は、それぞれ資格取得に必要な科目の単位を修得すれば、卒業時に免許申請資格を得ることができます。

そのほか、保健師免許取得後に申請すると、養護教諭二種免許状・第一種衛生管理者免許状が取得できます。

臨床に携わる看護師は、看護師免許取得後、それぞれ大学病院や国公立病院等に就職（例年80-85%）し、看護師として必要な基本的技能を身に付けていきます。また、養護教諭や保健師として就職する人（例年10%前後）や、進学する人（例年5%前後）もいます。

さらに、本学の医学研究科（看護学専攻　修士課程）には、修士論文コース・養護教諭専修課程・高度実践看護師コースがあり、大学院生として専門領域の学びを深めます。修士論文コースおよび養護教諭専修課程では保健・医療・福祉において問題解決能力の高い実務家としての能力を、高度実践看護師コースでは専門性の高い卓越したケアを提供できる高度実践看護師としての能力を身に付けます。

Q5 どのような看護職を目指して勉強するのでしょうか？

A5 豊かな人間性と高度な知識・技術を兼ね備え患者さんの心と生活に寄り添える看護職を目指します。看護学は「その人らしい生活」に必要な「健康」という資源を支えサポートする学問で、病気や障害の有無に関わらずすべての人が対象になります。地域医療の中で人々の健康・幸福に貢献できる看護職を目指して、専門知識・技能を身に付けるとともに人間性や感受性を育めるよう自身の学修を進めていきます。

下記に、「卒業に向けてどのような能力の習得を目指してほしいか」を示した大学からのメッセージであるディプロマ・ポリシーをお示ししますので参考にしてください。

ディプロマ・ポリシー

1. 修得した知識・技能・態度により、自らが発見した新たな課題を解決する力
2. 職業生活、社会生活に必要な知的活動を支えるコミュニケーション能力や論理的思考力
3. 自律しながらも他者と協調して行動でき、社会の一員として社会の発展に寄与できる力

Q6 大学の4年間でどのように勉強するのでしょうか？

A6 看護学科のカリキュラムは、共通教育科目、専門基礎科目、専門教育科目を有機的に編成し、豊かな人間性、生命の尊厳、科学的思考、チーム医療、実践能力、主体的態度、国際的な視野と活動を組み込んだ科目を配置しています。1年次早期から看護の対象となる人々の暮らしとその看護を体験して学ぶ体験実習を行います。

専門教育科目の学習形態は「講義」→「学内演習」→「臨地実習」→「統合実習」→「看護研究」と段階的、統合的に展開していきます。最新の患者シミュレーター教材を用いた演習や文部科学省の医療人材養成事業に選定されたVR教材を活用した体験学習（本学部ガイドの17ページ）も積極的に取り入れています。

福岡大学の病院

福岡大学病院

1972年医学部設置に伴い、翌1973年8月に開院しました。現在は2024年5月7日に開院した本館と、中央棟、西別館、北別館、デイケア棟および研修センター　A棟・B棟の7棟から成り、延べ床面積は約100,000㎡です。総病床数771床を有し、24診療科と13診療部および23診療支援部門を中心に約1,900人の職員が、理念である「あたたかい医療」を届けています。多職種協働・チーム医療を実践し、これまで以上に医療技術の向上、医療機器の整備、診療組織の充実に力を注ぎ、地域医療に貢献していきます。また、大学病院として優れた医療人の育成を行うことは重要な役割と考え、卒前から卒後まで一貫した質の高い教育に積極的に取り組んでいます。福岡市営地下鉄七隈線の博多駅から福大前駅までは20分に短縮され、さらに利便性が高まりました。

診療各科

腫瘍・血液・感染症内科／内分泌・糖尿病内科／循環器内科／消化器内科／呼吸器内科／腎臓・膠原病内科／脳神経内科／精神神経科／小児科／消化器外科／呼吸器・乳腺・小児外科／整形外科／形成外科／脳神経外科／心臓血管外科／皮膚科／腎泌尿器外科／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉・頭頸部外科／放射線科／麻酔科／歯科口腔外科／総合診療科

診療各部／その他

病理部／臨床検査・輸血部／内視鏡部／放射線部第一／放射線部第二／手術部／栄養部／リハビリテーション部／血液浄化療法センター／医療情報部／救命救急センター（ECMOセンターを併設）／総合周産期母子医療センター／臓器移植医療センター／看護部／薬剤部／臨床研究支援センター／卒後臨床研究センター／臨床工学センター／地域医療連携センター／医療安全管理部／感染制御部／がんセンター／再生医療センター／認知症疾患医療センター／入退院支援センター／心臓リハビリテーションセンター／摂食嚥下センター／最先端ロボット手術センター／炎症性腸疾患先進治療センター／睡眠センター／救急治療センター／脳卒中センター／不整脈センター／脊椎・脊髄センター／遺伝医療室／褥瘡対策室

福岡大学筑紫病院

2013年5月7日に新病院を開院しました。延べ床面積26,016㎡、地上9階建ての鉄筋コンクリート造（免震構造）で、許可病床数310床、17診療科、12診療部および7診療支援部門を有します。HCU、SCUなどの集中治療室の充実により、術後のより安全な管理が可能となりました。

また、小児病棟の新設、小児救急医療支援事業の拠点病院として、地域医療へのさらなる貢献を目指しています。他にも、IBDセンター、脳卒中センター、腫瘍・緩和ケアセンター、外来化学療法室など充実した治療環境を整備しております。

診療各科

循環器内科／内分泌・糖尿病内科／呼吸器内科／消化器内科／腎臓内科／脳神経内科／小児科／外科／呼吸器・乳腺外科／整形外科／脳神経外科／腎泌尿器外科／眼科／耳鼻咽喉・頭頸部外科／放射線科／救急・総合診療科／麻酔科

診療各部／その他

病理部／臨床検査部／内視鏡部／放射線部／手術部／材料部／栄養部／リハビリテーション部／医療情報部／炎症性腸疾患（IBD）センター／脳卒中センター／腫瘍・緩和ケアセンター／看護部／薬剤部／臨床研究支援センター／臨床工学センター／地域医療支援センター／医療安全管理部／感染制御部／事務部

福岡大学西新病院

2018年4月に、福岡大学の第3の病院として、福岡市早良区西新の地に開院しました。

当院は心疾患や消化器、呼吸器及び糖尿病の急性期医療を担う内科中心の病院であり、「地域に信頼されるあたたかい医療の提供」を基本理念とし、地域の医療機関からの紹介患者を速やかに受け入れ、福岡大学病院をはじめとする高度専門医療機関との密な連携により、地域医療と高度医療との橋渡し的な役割を担う新しい医療連携の形を実践しています。

また、「地域包括医療病棟」を併設しており、リハビリテーションを積極的に行い、栄養管理を充実させることで、早期在宅復帰を目指した入院治療を行える環境を整えています。

2027年春には、こども病院跡地（福岡市中央区唐人町）への移転・新築が計画されており、事業開始に向け準備を進めています。新病院は、現在の病院機能を維持し、リハビリテーション機能を充実させ、駐車場スペースも十分に確保する予定です。

診療科

内科（循環器、消化器、糖尿病・代謝・内分泌、呼吸器、脳神経）